

これまでの青年交流会（2015年8月～）

27. 第27回青年交流会 国会見学会&小坂文乃講演会（@松本楼） （中国留学生交流支援立志会との共催）

日時：2019年12月26日（木） 9時30分～15時

場所：参議院及び日比谷松本楼

題目：国会議事堂を見学、参議院特別体験プログラムに参加した後、場所を日比谷松本楼に移し、小坂文乃社長から梅屋庄吉と孫文の交流についての講演を聞いた。

出席者：34名

内容：従来は、シャンデリアのある参議院議員食堂で昼食を摂りながら、参議院議員の挨拶を頂いた後、議事堂内を見学し、参議院特別体験プログラムに参加して終わっていましたが、今回は、午前中は国会に、午後は場所を日比谷松本楼に移し、名物であるカレーライスを食べた後、小坂文乃さんから曾祖父である梅屋庄吉と孫文の終生変わらぬ友情について、秘話も交え伺いました。

孫文との関係を公表してはならないとの遺言もあり、梅屋庄吉の名は日本では知られていませんでしたが、中国では辛亥革命を支援した日本人として一部では知られており、日本訪問に際し胡錦濤総書記が孫文ゆかり地として松本楼訪問を希望したことから日本でも知られるようになりました。若い頃、香港で出会った梅屋と孫文の終生変わらぬ友情、辛亥革命への財政的支援、宋慶齡との結婚を取持った梅屋夫妻の話など学生たちにとっては初めて聞く話で、興味津々であったと共に、若い心に深く刻まれたようで、参加した青年交流会メンバーからは企画に感謝する旨のメールが寄せられた。



26. 第26回青年交流会

日時：2019年11月22日（金） 午後6時00分～8時30分

場所：宮本アジア研究所

講師：ロシア連邦文化科学協力庁在日代表 イーゴリ・チトフ氏

題目：「ロシアの教育制度の紹介と今後の展望」

内容：今回は、日中関係を考えるにあたって体制の違いという本質的な問題について考えてもらうためロシア大使館参事官、ロシア連邦文化科学協力庁在日代表として活躍中のチトフさんからお話を伺い、議論をしました。まずは、氏の専門であるロシアの教育制度の紹介と展望についてお話を伺いましたが、チトフさんは若い頃は社会主義国ソビエト、現在は資本主義国ロシアと2つの体制を身を持って経験されていますので、学生達の質問は次第に体制の違いに及び活発な質疑が行われました。また、チトフ夫人は元ボリショイ劇場のバレリーナで、交流会にも出席されていたので、話はお二人の馴れ初めから、バレリーナ育成の話、舞台芸術の日ロの相違等まで幅広い範囲に及び楽しくも充実した会になりました。



25. 第25回青年交流会

日時：2019年9月19日（木） 午後6時00分～8時30分

場所：国際貿易投資研究所

講師：法円坂法律事務所（大阪） 弁護士 稲田堅太郎氏

題目：「法律実務から見た中国ビジネスと日中企業文化の相違点」

内容：稲田弁護士は1996年から日中法務交流協力日本機構の活動を通し中国と関わりと共に大連に代表処を設け中国との法律実務に携わっておりますが、講演では2000年以上にわたる日中交流の歴史から紐解いて今

後の日中関係をどのように考えるべきかという所から始まり、更には日本と中国の企業文化の違い、法律に対する両国民の考え方の違い、法律実務についての話を伺い、オブザーバーとして参加された大堀弁護士と共に学生達からの質問に答えていただきました。



24. 第24回青年交流会

日時：2019年7月4日（木） 午後6時00分～8時30分

場所：国際貿易投資研究所

講師：福井県立大学名誉教授、日中科学技術文化センター前理事長
凌 星光先生

題目：「若者達に伝えておきたい中国改革開放を支えた人々」

内容：凌先生はご高齢ですが、現役の中国社会科学院研究員（教授相当で終身制だそうです）としても活躍されており、マスコミ等を通じてよく情報発信もされていますのでご存知の方も多いと思います。NHKBS特集「中国改革開放を支えた日本人」でも語られていたように改革開放当時、社会科学側院側の担当者として後に外務大臣になられた大来佐武郎氏、経企庁長官になられた宮崎勇氏をはじめとする日本側実務代表団と折衝されていました。今回、大来氏をはじめとする日本側代表団各氏の人となりや交渉の成り行き等を詳しく伺いましたが、将に歴史的証言として貴重なものであり、私にとっても非常に勉強になるものでした。また、若者達からはウイグル問題や香港デモ等微妙な問題についての質問がなされましたが、これらについても真摯にお答えいただき非常に実りある交流会になりました。



23. 第23回青年交流会（講師の体調不良で中止）

日時：2019年5月15日（水） 午後6時00分～8時50分

場所：宮本アジア研究所

講師：中国研究所会長、中央アジア・コーカサス研究所所長、前キルギス
大統領経済顧問 田中哲二氏

題目：「中央アジアから見た日中関係-若者達に伝えておきたいこと-」

予定講演内容：田中氏は日銀時代にキルギス大統領経済顧問を始め中央アジア諸国の顧問をされていたことから現地事情に詳しく、また、中国との関わりも強く中国研究所の会長をしておられる。今、一帯一路で中央アジア諸国が注目されているが、その実情を知らない人が殆どであるので、今回は、田中氏から中央アジア諸国の現状と課題、今後の見通し、中国、日本との関係について伺う予定であった。

また、氏は日銀時代に周恩来との会見に出席されたことがあるので、その貴重な体験についても聞けることを楽しみにしていただけに中止となったのは残念である。

22. 第22回青年交流会

日時：2019年3月7日（木） 午後6時00分～9時

場所：宮本アジア研究所

講師：富士通総研主席研究員 金 堅敏氏

題目：「加速する中国のデジタルイノベーション：日本への示唆」

出席者：30名

内容：金堅敏氏は浙江大学工学部出身で中国国家科学技術委員会に勤められた後、日本留学され、富士通総研で中国経済、中国企業等の研究をされています。今回はこの理系のセンスをもって、中国の加速するデジタルイノベーションの事例を幾つも挙げながら日中の対応の違いを分析さ

れ、日本ではリソースが大企業に滞留し中国でイノベーションの主角になっているベンチャーが活発化していない等、日本がデジタル革命への対応が遅れた理由を明らかにされた。また、若者達には革新的な思考とチャレンジ精神をもってこの大変革の時代を乗り切っていくよう叱咤激励の言葉をいただいた。



21. 第21回青年交流会（国会見学会）

日時：2018年12月26日(水) 11時30分～15時

場所：参議院

題目：立志会主催の国会見学会に参加する形で青年交流会を行った。

出席者：30名

内容：立志会では、五十嵐理事長が退任され、王紅新理事長の下での初の国会見学会となったが、恒例のシャンデリアのある参議院議員食堂での国会カレーとコーヒーの昼食の後、衛視さんの案内で国会議事堂内を見学、国会正面玄関で記念撮影を撮った後、参議院特別体験プログラムに参加した。

本会議場の参観では中国人学生から矢継ぎ早の質問が出され、衛視さんは留学生たちの熱心さに驚いていたし、また、特別体験プログラムでは、これまで本会議採決は押しボタン投票を行っていたものを、今回、試行的に記名投票を行ってみたいとの申し出が当局からあり、体験プログラム史上初の記名投票が中国人留学生達によって行われた。青年交流会会員の日本人学生の議員点呼の下、全留学生が模擬本会議場演壇に登壇し、投票を行ったが、いつも以上のノリで盛り上がっていたことから、参議院事務局でも、押しボタンにするか、記名投票にするかを選択できるように検討を始めたとの事であった。



20. 第20回青年交流会

日時：2018年11月29日（木） 午後6時00分～8時30分

場所：国際貿易投資研究所

講師：元三井物産専務取締役、ハチソンワンポアジャパン相談役遠藤滋氏

題目：「転換期にある世界—どう捉え、どう生きるか」

出席者：17名

内容：当会顧問の遠藤さんは、長きにわたり商社で活躍され、中国のみならず米国の実情にも詳しいが、今回は、直前に米国に行かれ、現地の米国人の生の声も聞いてこられたので、その話を中心に、「トランプの米国」「米国の中国観」「中国の大国化と米中関係」等々について話をお伺いすると共に親しくお付き合いをされているアジアの大富豪、長江実業グループの李嘉誠氏の人となりについても伺った。

最近までトランプ大統領を貶していた東部インテリ層の一部で、内容は兎も角、公約したことを実行しているトランプ大統領の行動力に評価が高まっているとの話は意外でもあったが、それだけ、口先だけに終わったオバマ大統領に対する失望感が強いことの裏返しであり、今後の米国を占う上で注意すべき事象であろう。



19. 第 19 回青年交流会

日時：2018 年 9 月 27 日（木） 午後 6 時 00 分～9 時

場所：宮本アジア研究所（港区三田）

講師：前綜研化学（株）会長 中島 幹氏

題目：「中堅化学素材メーカーの事業戦略と中国展開から学んだこと」

出席者：17 名

内容：例えば、パソコンには液晶画面とガラスを着ける特殊な粘着剤（接着剤とは異なる物）が使われ、そこにはハイテク技術があるが、このことをほとんどの人は注目していない。しかし、この技術が無ければ使用に耐えるパソコンが存在し得ないように、各種機器は、表面に見える物だけでなく多くの見えない技術から成り立っている。そこで綜研化学（株）前会長の中島 幹氏から、粘着剤や特殊機能材等の化学製品の話を通して社会の仕組みを伺うと共に、特許の話や経営者として長らく中国ビジネスにも関わって来られ 4 つの現地法人を作られたので、その時の苦労話や会社経営のノウハウについて実践的な話を伺った。実際に製品を手にしたがらの説明と現地法人の判断と本社の判断のいずれを取るべきかについて、本社は出来るだけ口を挟まない様になっているという話が印象的だった。



18. 第 18 回青年交流会

日時：2018 年 6 月 28 日（木） 午後 6 時 00 分～9 時

場所：国際貿易投資研究所

講師：元国連大使・OECD 事務次長・岩手県立大学学長 谷口 誠先生

題目：「国際機関で働いた経験で若者達に伝えたいこと」

出席者：22 名

内容：谷口先生はケンブリッジ大学を卒業されたのち外務省に入られ国連大使や日本人初の OECD 事務次長を歴任された後、岩手県立大学の学長をされ、現在、北東アジア研究交流ネットワーク（NEASE-NET）の代表幹事を務めておられます。米寿を迎えられ西原春夫先生に次ぐ超ご高齢者ですが、元気一杯、良く通る声でマイクなしに話されますし、興が乗ればイタリア語でオーソレミオを熱唱されます。

国連や OECD で活動された当時のことを中心にお伺いしましたが、「人生塞翁が馬」挫折を味わっても、どこかで人は見ていてくれて明るく生きていれば運命は開けるとの貴重な人生訓を頂くことができました。ただ、喉の調子が悪かったのか日本の「船頭小唄」を歌われ、オーソレミオのアンコールもお断りになられたのはチョッピリ残念でした。



17. 第 17 回青年交流会

日時：2018 年 4 月 19 日（木） 午後 6 時 00 分～8 時 30 分

場所：国際貿易投資研究所

講師：大阪経済法科大学客員教授 小牧輝夫先生

題目：「北朝鮮の国内情勢と周辺諸国との関係」

出席者：17 名

内容：平昌オリンピックを契機とした北朝鮮と米・韓関係の劇的变化は予期しない驚きとして受け取られました。前回の交流会で宮本会長が言われたように外交を感情的ではなく論理的に考えれば、北朝鮮の国内情勢と北朝鮮・韓国の本音、そして、中国、ロシア、アメリカの思惑から論理的に導かれたのが今回の北朝鮮の対応であった様にも思えます。そこで、今回は広く国際問題について論理的に考えてもらうためこの問題を取り上げ、北朝鮮、韓国が専門の小牧輝夫先生をお招きして最新の北朝鮮の映像をご紹介いただくと共に、北朝鮮の国内情勢、北朝鮮を取り巻く各国の思惑、核放棄の今後の動きについて伺った。北朝鮮と韓国の間

は現在も国境が無い事（休戦ラインがあるだけ）、北朝鮮と国交のある国は160カ国もあること（韓国は180カ国）など、若い人達にとっても北朝鮮については基礎的なことも含め何も知らなかったことを反省する良い機会になったのではないかと思う。



16. 第16回青年交流会

日時：2018年2月8日（木） 午後6時00分～9時過ぎ

場所：宮本アジア研究所

講師：日中関係学会会長、元駐ミャンマー・中国大使
宮本雄二氏

題目：「若い世代への期待と注文—21世紀、自分の人生を如何に生き抜くか」

出席者：23名

内容：今回は、宮本会長から論理的に物事を考えることの重要性と若い世代に対しこれからの人生をどう生きるべきかとの人生訓とも言うべき話があり、これに対する若者達との意見交換の場となった。

会長から、21世紀は変化の時代でありその変化は加速化している。これまでの前例が通じない答えのない時代なので、自分で問題を設定し答えを出すしかない。ところが、今の日本は創造的な自由な空間の創設に成功していないので「第三の黒船」「第三の開国」が不可欠である。「失敗は成功の母」。皆さんのような若者こそ慎重かつ大胆に行動して時代を切り開いて欲しいとの若者に対する熱い期待と叱咤激励が寄せられ、時間切れになるまで若者達とのエキサイティングな議論が交わされた。



15. 第 15 回青年交流会

日時：2017年12月26日(火) 11時30分～15時

場所：参議院

題目：立志会主宰の国会見学会に参加する形で青年交流会を行った。

出席者：30名

内容：最初にシャンデリアのある参議院議員食堂で国会カレーとコーヒーの昼食を摂りながら、参加者の自己紹介をしたり、入館手続きをしていただいた藤田幸久参議院議員からの挨拶を頂きました。

この後、女性衛視さんの案内で国会議事堂内を見学し国会正面玄関で記念撮影を撮った後、参議院特別体験プログラムに参加しました。体験プログラムでは、今回、参加者の娘さんで日本の小学校に通うお子さんに法務副大臣役をやらしてもらいましたが、皆の心配とは裏腹に綺麗な日本語でスラスラとセリフを読み上げ、たどたどしい日本語のお兄さん、お姉さんもビックリでした（バイリンガルだったのでですね笑）。



14. 第 14 回青年交流会

日時：11月22日（水） 午後6時00分～8時30分

場所：国際貿易投資研究所

講師：伊藤忠商事OB、日本漢字能力検定協会執行役員 BJT 普及部長
高木純夫氏

題目：「波瀾万丈商社マン人生40年 ～中国と私～」

出席者：20名

内容：高木さんは商社マンとして40年を過ごされてきたので、この人生経験を中心に若者達に参考になることをお話しいただくようお願いしました。

商社活動の意義から始まり、グローバル化の中で学生たちは何を勉強すべきか、中国で住むうえでの心構え、更に面接官は学生の何処を見ているかの貴重な？話まで伺い、最後は「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」という井上靖の言葉で締めくくられました。



13. 第13回青年交流会

日時：2017年9月19日（火） 午後6時00分～9時

場所：国際貿易投資研究所

講師：元通産事務次官、東洋大学理事長、地球産業文化研究所顧問
福川伸次先生

題目：「政治家 大平正芳の思想と日中関係に寄せる思い」

出席者：29名

内容：学会第2代会長で、大平総理大臣秘書官を務められていた福川伸次先生から大平総理の思想・時代を見る目について伺うと共に、ご

自身が体験された大平さんと田中角栄総理との仲の良さ等についての秘話を伺いました。角さん、大平さんでスキ焼を食べた時、新潟出身で辛党の角さんが醤油を一杯かけるので、香川出身で甘党の大平さんが直ぐに砂糖を入れ直したのでこのスキ焼は食べれたものではなかったそうです（笑）。



12. 第12回青年交流会

日時：2017年7月27日(木) 午後6時00分～8時30分

場所：国際貿易投資研究所

講師：コーディネーター、ライター、中国語通訳、翻訳
小山ひとみ さん

題目：『中国の今を伝えるには？』

出席者：13名

内容：日中文化交流のコーディネーター、ライター、中国語翻訳家の小山ひとみ先生をお招きし、中国の若く才能のある音楽家、写真家、ファッションデザイナー等について紹介していただくと共に中国の若者達の動向について参加者達と懇談しました。私にとっては全く知らない名前の人達ですが、学生たちも知らないような最新の文化情報があり、興味津々で聞いていました。



11. 第 11 回青年交流会

日時：2017 年 5 月 25 日(木) 午後 6 時 00 分～8 時 30 分

場所：国際貿易投資研究所

講師：日中友好会館顧問、元インド、中国大使

谷野作太郎さん

題目：『日本と中国の若者たちへの元大使からのメッセージ』

出席者：22 名

内容：村山談話を起草された谷野先生からその作成秘話を伺うと共に、
未来を担う日本と中国の若者たちに対する老外交官からのメッセージ
を伺いました。

今回は、特に村山談話に関心を持っている非会員からの早々の参加
が多く、先生の話に熱心に聞き、活発な議論が行われた。見識豊か
な先生の話に学生たちも得るものが多かったと思います。



10. 第 10 回青年交流会

日時：2017 年 3 月 2 日(木) 午後 6 時 00 分～8 時 30 分

場所：国際貿易投資研究所

講師：三菱東京UFJリサーチ&コンサルティング・シニアフェロー

柳岡 広和さん

題目：『私の見た中国経済、中国における外銀経営』

出席者：18 名

内容：通算 25 年間中国に駐在された柳岡氏から各種統計資料に基づいた
中国経済の現状と見通しと、中国における外国銀行の経営についての

話を伺いました。かなり専門的、詳細な分析であり、経済学を専門としない学生には難しかったですが、銀行実務に於いてこれほどまでに詳細な経済分析が行われていることを知ることでただけでも勉強になったと思います。なお、参加者に同銀行に就職が内定している者がおり、早速、柳岡さんと先輩後輩関係を結んでいました。



9. 第9回青年交流会

日時：2016年12月26日(月) 11時30分～15時

場所：参議院

題目：立志会主宰の国会見学会に参加する形で青年交流会を行った。

出席者：32名

内容：始めに参議院議員食堂で昼食会を行い、日中国交回復に公明党が尽力したことを紹介した後、山口那津男同党代表から、西田実仁参議院議員からは中国語で挨拶を頂くと共に、飛び入りで中山恭子参議院議員からも挨拶を頂いたので、テレビで顔馴染みの議員がその場において、しかも挨拶をしてくれているので学生たちは大喜びでした。

議事堂見学では、案内の衛視が中国語で説明を始めたので驚きましたが、独学で中国語を勉強しているとのことで、今後、機会があれば当学会を紹介したいと思います。

特別体験プログラムでは、今年は裁判員制度の法案を行いました。担当の係官は留学生たちの日本語が上手いので驚いていました。



8. 第8回青年交流会

日時：2016年10月20日(木) 午後6時15分～8時30分

場所：国際貿易投資研究所

講師：西原春夫アジア平和貢献センター理事長(元早稲田大学総長)

題目：『東アジア戦略の再構築

－ ‘未来 ‘の中にしか解決の道は見つからない－』

出席者：18名

内容：西原先生から、歴史の本流を見極めることの重要性、国際仲裁裁判所のような一刀両断的な解決方法ではなく、円満な解決を目指すための「東アジア国際法秩序研究会（仮称）」の立ち上げを中国はじめ各国に精力的に働きかけておられる旨の話がありましたが、88歳になられた現在も自動車を運転して会場に来られたことを紹介すると、健康長寿の秘密を知りたいという質問が相次ぎ、老若の楽しい交流会となりました。

また、先生の話に感銘を受けた留学生の一人は大学当局の支援を得て、上智大学で先生の講演会イベントを成功させましたが、人材交流の輪を広げるという当交流会の目的を達成することができました。



7. 第7回青年交流会

日時：2016年6月24日(金) 午後6時45分～9時

場所：「(株)アジア太平洋観光社」会議スペース

講師：明日香壽川東北大学教授

題目：『地球温暖化問題と日本・中国・世界の温暖化対策』

出席者：13名

内容：明日香先生は、温暖化対策等の地球環境問題のほか中国環境問題研究会を主宰され中国の環境問題にも詳しい先生で、COPの国際会議があれば草の根の代表として世界を飛び回っているタフな方です。私は現役時代、先生から環境問題に関する学者メールグループに入れていただいたおかげで、福島原発事故時のメルトダウンを最初の段階で知ることができましたし、学者の見方の凄さに対し、政治中心に動き回る一部マスコミ人の科学知識のお粗末さを直に体験しました。

皆さんにはマスコミに踊らされず、確実な科学的知識を持って欲しいと思いますが、地球温暖化問題という重要な問題に対して学生たちの関心が低いことが気になりました。

6. 第6回青年交流会

日時：2016年4月22日(金)18時45分～21時

場所：アジア太平洋観光社（東銀座）

講師：行天豊雄久さん(国際通貨研究所理事長)

「国際通貨マフィアとして生きて」

出席者：20名

内容：行天先生は国際的に著名な通貨マフィアであるが、このことを知らない留学生たちには『黒社会』の先生ではないことから説明をした(笑)。行天先生は80歳を超えても中国人留学生との交流会に参加されるだけでなく中国語の勉強を始められるなど心身ともに若々しい方ですが、若い頃の挫折の話など、多くの人生経験を語っていただくと共に、難しい国際通貨の話をつかり易く解説していただき何だか通貨の話が分かった気分になりました。



5. 第5回青年交流会

日時：2016年3月4日(金)18時45分～21時

場所：アジア太平洋観光社（東銀座）

講師：小山雅久さん(三菱商事グローバル渉外部次長)

「中国に於ける商社ビジネス、よもやま話」

出席者：21人

内容：青年交流会では学生に広く実社会を知ってもらうために、各業界で実務に携わっていた方にも講師として来ていただいている。

今回は、現在の中国の状況、商社ビジネスについて伺ったが、時代と共に変わっていく商社の役割とそれに対応してきたかという話は有益でした。



4. 第4回青年交流会

日時：2015年12月25日(月) 11時30分～15時

場所：参議院

内容：先ず、参議院議員食堂で昼食を摂りながら、立志会会員の行天豊雄元大蔵財務官と入館の世話をさせていただいた水野賢一参議院議員から話を伺った。

その後、国会議事堂内を見学した後、参議院特別体験プログラムに

参加し、模擬国会議員として、実際の立法活動を体験してもらった。

出席者： 29 人



3. 第3回青年交流会

日時：2015年11月9日(月)18時45分～21時

場所：アジア太平洋観光社（東銀座）

講師：宮本雄二さん(元駐中国大使、日中関係学会会長)

「外交現場から見た日中関係の未来」

出席者：21人（日本で中国研究をしている韓国人、スイス人も参加）

内容：本会は、若い人達に参考にしてもらうために講師の人生・社会経験を話してもらうことも目的にしているので、宮本会長からは、日中関係に留まらず外交官時代の体験、そこで思ったことを率直な言葉で話していただいた。

外交をめぐってはマスコミ紙上、よく色々な陰謀論が取りざたされているが実際に外交の仕事をしていると日々の仕事をこなすことに精一杯で深読み的な陰謀を考えている余裕はなかったという言葉が印象的であった。



2. 第2回青年交流会

日時：2015年9月24日(木)18時30分～21時

場所：アジア太平洋観光社（東銀座）

講師：江暉さん(東京大学 交流研究員)

「中国人の日本イメージの形成過程」

ゲスト：加藤隆則氏(元読売新聞編集委員、独立記者)

井川紀道氏(元大蔵省、GIGA 長官、日大教授)

出席者：17人

内容：江暉さんは中国人の日本イメージについて研究しており、これに関して本を出版したので、その内容について聞くと共に、元読売新聞編集委員の加藤さん、GIGA 長官の井川さんを交え、一般的に言われているものと違う中国人の日本イメージについて議論を行った。中国人の日本イメージが日本で思われているものと違うものが多いので勉強になった。

1. 第一回青年交流会

日時：2015年8月6日(木)18時30分～21時

場所：国際貿易投資研究所（築地）

講師：江原規由氏

「上海万博と一带一路」

出席者：12名

内容：江原さんは会場を借りることになった国際貿易投資研究所の研究主幹であるが、ジェトロで長く中国関係の仕事に携わり、上海万博日本館

の館長を務められた。また、一带一路についてはいち早く研究に取り組み、中国の主宰する最初の国際会議にも出席されている。上海万博も一带一路も中国が国際社会で確かな地位を築くための政策であるが、この二つの意義について伺った。